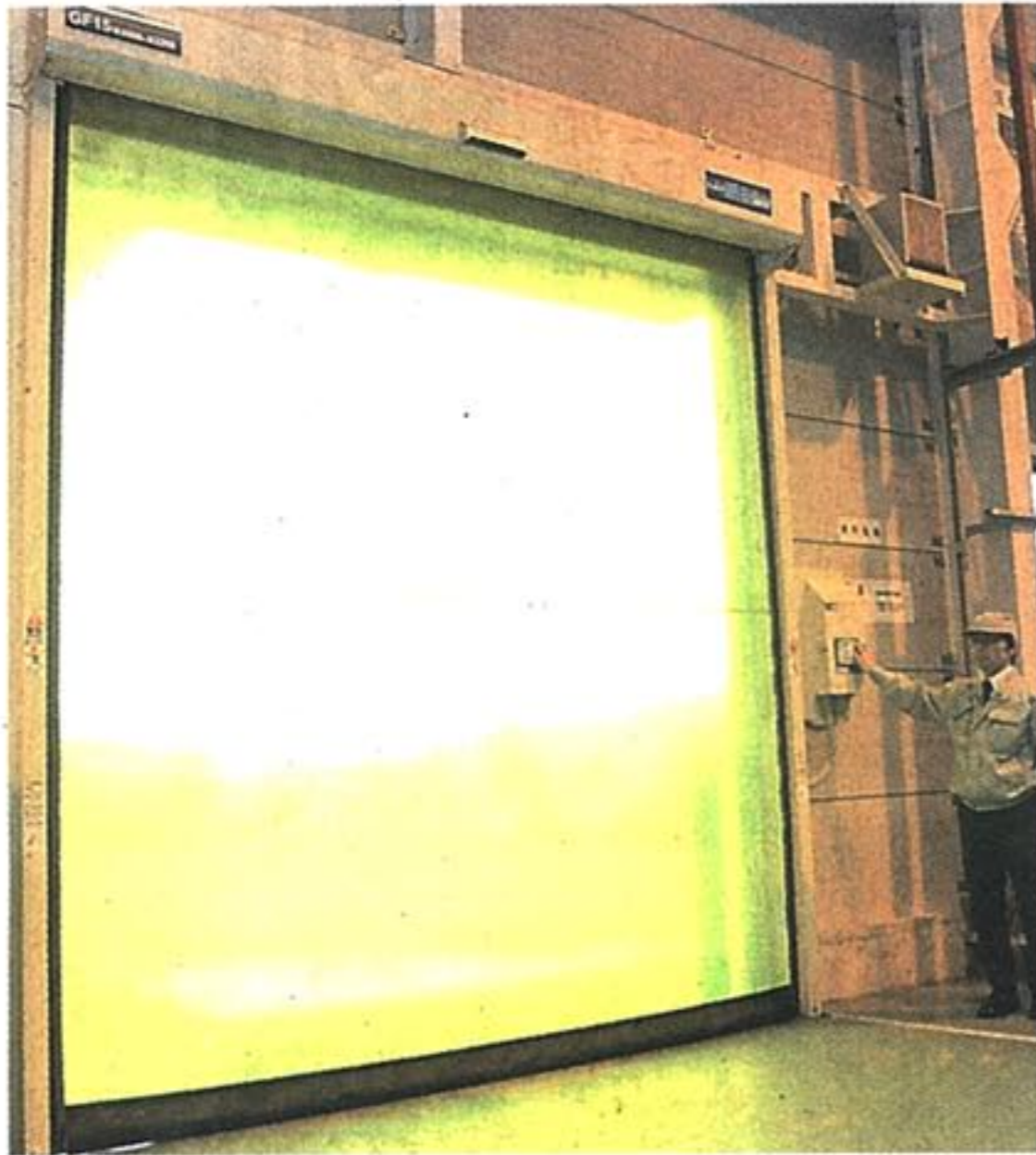


# 小松電機産業(松)、都内の2社と連携



小松電機産業などが共同開発した、防虫機能を備えたシートシャッター＝松江市乃木福富町、同社

誘引する光の波長域を遮断

## 防虫シートシャッター開発

### 食品工場などと需要見込む

シートシャッター製造大手の小松電機産業（松江市乃木福富町、小松昭夫社長）は17日、東京都内の2社と連携し、防虫機能を備えた製品を開発したと発表した。虫を誘引する光の波長域を遮断する塩化ビニール製のシートを活用し、4月に発売する予定。全国で虫の混入問題が相次ぐ中、食品工場などでの需要を見込む。

防虫商品を製造する大成イーアンドエル（東京都葛飾区）と、衛生コンサルタンのイカリ消毒（同新宿区）が共同開発したシート「オプトロン」を採用し、3社で商品化した。

同シートは従来と同じ塩化ビニール製だが、特殊加工を施すことで、虫を誘う施設内の光が外部に漏れないよう工夫した。

さらに、黄色を好み、寄りつく虫の習性を踏まえ、内側のシート表面を同色に塗り、開閉時に施設内へ虫が入っても、製造ラインへの侵入を防ぐ構造とした。

価格は幅と高さが各3尺の仕様で、100万円程度を予定。年間1千台の販売

を目指す。小松社長は「消費者の安全安心への意識が高まる中、食品工場などで役立つ商品。導入企業のイメージアップにもつながる」と述べた。

小松電機産業は、1985年にシートシャッターを発売して全国展開。シートの前に人が立つとセンサーが反応し、昇降する仕組みで、冷蔵冷凍庫仕様などラインアップを充実させ、販売台数は累計15万台に上る。